



おしっこをした後、^{あと からだ}体がふるえるのはどうして

ふるえるのは^{たいおん あ}体温を上げるため

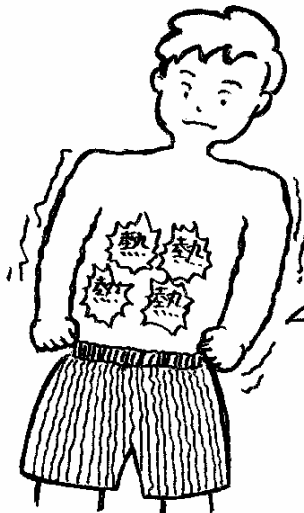
おしっこをした後、^{あと からだ}体がふるえるのは、^{たいおん さ}体温が下がって^{さむ}寒くなるのが^{げんいん}原因です。

おしっこをすると、^{からだ なか あたた}体の中で温められていたおしっこの^{ねつ}熱も、^{からだ そと で}いっしょに体の外へ出ていってしまうこととなります。まわりが^{さむ}寒いときには、^{たいおん きゅう さ}体温も急に下がってしまうため、^{たいおん あ}体温を上げるために、^{からだ}体がふるぶるとふるえるのです。

ふるえるのは^{しぜん うんどう}自然に運動をすること

わたしたちの^{からだ}体は、^{そと きおん かんけい}外の気温と関係なく、いつも^{たいおん}体温を^{どスィー たも}35～37に保つようになっています。おしっこをして、^{からだ ねつ からだ そと で}体の熱が体の外へ出てしまい、^{たいおん きゅう さ}体温が急に下がって^{さむ}寒くなったときには、^{からだ きんにく しぜん}体の筋肉が自然にふるえて、^{ねつ だ}熱を出そうとします。

^{さむ}寒いときに^{うんどう}運動をすると^{あたた}暖かくなりますが、これと同じことを、^{あな からだ しぜん}体は自然にやっているのです。(監修・保志 宏)



体がふるえると、運動したときと同じように、熱が出る。

